

プレスリリース

バンヤンツリー ホテルズ&リゾーツと株式会社ホテル W マネジメントが 日本初進出となるバンヤンツリー・ホテルの開発を発表



調印式にて:ウェルス・マネジメント株式会社 代表取締役社長 千野和俊(右)
バンヤンツリー・ホールディングス・リミテッド エグゼクティブ・チェアマン ホー・クワンピン(左)

2019年3月5日、東京 ーウェルス・マネジメント株式会社の連結子会社である株式会社ホテル W マネジメントとバンヤンツリー・ホールディングス・リミテッドの持ち株会社であるバンヤンツリー ホテルズ&リゾーツは、本日、「ホテルりょうぜん」(京都市東山区)の再開発計画に伴う開発完了後の新ホテルの運営委託契約を、株式会社ホテル W マネジメントとバンヤンツリー ホテルズ&リゾーツとの間で締結したことを発表いたしました。バンヤンツリー・グループのホテルとして日本初進出となる本ホテルは、世界遺産に登録された寺院やミュージアムに囲まれ、悠久の歴史を今も残す土地に、インターナショナルブランドとしては京都市中心部で初めて、且つ唯一の温泉付きラグジュアリー・ホテルとなります。

バンヤンツリー・ホールディングス・リミテッド(「バンヤンツリー」または「グループ」)は、プレミアム・リゾート、ホテル、レジデンス、そしてスパ業界をけん引する国際的な運営および開発会社として、世界23か国に49軒のホテル&リゾート、63軒のスパ、75軒のギャラリー、3つのゴルフコースを展開しています。グループとして、数々の受賞歴を誇るバンヤンツリーとアンサナ、新たに加わったカッシーアとダーワの4つのブランドを、魅力的な地域や都市に展開しています。

旅のロマンスにインスパイアされたバンヤンツリーは、心身の調和の空間“五感の聖域”(a Sanctuary for the Senses)を提供することを信条に世界に展開を進めております。1994年の創業以来、「環境を慈しみ、人々に力を与える」という企業理念のもと、バンヤンツリーの持続可能性を重んじたアプローチは自然との調和と、ホテルが所在する地域コミュニティ全体の発展に貢献しております。

日本では、パートナーホテル内にスパ2軒(宮崎、神戸)及び会員用のレジデンスを展開している他、株式会社オークラ ニッコー ホテルマネジメントとジョイントマーケティング契約にて提携しています。

この度の契約締結はバンヤンツリーが、世界基準の特別な体験を求める旅行者を見据え、京都の更なる発展に寄与することを象徴しています。

今後、「ホテルリょうぜん」の営業は本年 10 月末をもって終了し、その後、株式会社ホテル W マネジメントとバンヤンツリー ホテルズ&リゾートは、日本初のバンヤンツリー・ホテルの設計と建築に向け協力します。マスター・アーキテクトとして隈研吾氏を迎え、客室数 60 室、スペシャリティ・レストラン、バー、ライブラリー、温泉、ジム、そして数々の受賞歴を誇るバンヤンツリー・スパの開発を予定している本施設は、国際ブランドとしては京都市中心部で初めて、且つ唯一のラグジュアリー温泉ホテルとして、2022 年春の開業を目指し現在開発を進めております。

ウェルス・マネジメントの代表取締役社長 千野和俊は「この度、当社グループは世界的なホテルブランドであるバンヤンツリーと共同で、京都で初めての 5 つ星のブティック型ラグジュアリーホテルの開発を行って参ります。新ホテルは、バンヤンツリーの持つノウハウを生かしながら、日本の古都である京都の良さを世界中の皆様にも堪能して頂けるような京都で初めてのアーバンリゾート型ホテルとなる予定です。」と述べました。

バンヤンツリーのエグゼクティブ・チェアマン、ホー・クワンピンは「私たちのブランドの世界展開を促進する上で、本契約は、豊かな文化、美食、風光明媚な観光名所で知られる日本において、バンヤンツリーのホテル展開の第一歩となります。私たちは、特別な体験を求める旅行者のために、京都をさらなる世界基準の観光地とすべく魅力の開拓を志しています。バンヤンツリー・グループが成長を続けますますます有名になり、25 周年を迎える記念すべき本年に、更なる飛躍を期待しています。」と述べました。

高画質の画像は[こちら](#)からダウンロード願います。

- END -

■ ウェルス・マネジメント株式会社について

ウェルス・マネジメント株式会社は、「富の創造 - プロフェッショナル意識とそのシナジーによる付加価値の創出」をコーポレート・スローガンとして掲げ、社員ひとり一人が「約束を守る専門家集団」として、全てのお客様に肌理の細かいサービスを提供することにより、長期的かつ継続的な成長を目指して業務に取り組んでいます。

同社は、東京証券取引所第二部に株式を上場し、持株会社としてグループ会社の経営管理を行うほか、グループ会社が組成するファンドスキームへの自己投資を行なっています。現在は、主に不動産金融を営むリジェス・マネジメント株式会社と、ホテル運営事業を行なう株式会社ホテル W マネジメントの子会社二社を中心に業務展開をはかり、お客様のサポートを行なっております。

■ バンヤンツリー・ホールディングスについて

バンヤンツリー・ホールディングス・リミテッド (以後「バンヤンツリー」または「グループ」)は、各種ブランドを保有し、プレミアム・リゾート、ホテル、レジデンス、そしてスパ業界をけん引する国際的な運営・開発会社です。現在、グループは 49 軒のホテル&リゾート、63 軒のスパ、75 軒のリテール・ギャラリーと 3 つのゴルフコースを 23 ヶ国にて展開しています。

グループの基本事業は 4 つのブランドを中心としています。数々の受賞歴を誇るバンヤンツリーとアンサナ、そして新たに加わったカッシーアとダーワです。バンヤンツリーは、グループ子会社である Laguna Resorts & Hotels Public Company Limited を介し、タイを代表する総合リゾート施設「ラグーナ・ブーケット」も運営しています。同様にグループは、

インドネシアのピンタン島に「ラグーナ・ピンタン」、ベトナム中部には「ラグーナ・ランコー」と 2 つの総合リゾート施設を展開しており、アジアを代表する総合リゾート運営会社としての任も務めています。

また、アジアを代表するスパ運営会社としても、バンヤンツリー・スパは、各グループリゾートに欠かせない施設となっています。その小売り部門であるバンヤンツリー・ギャラリーも、リゾート、ホテル、スパ運営を補完し、ブランディングを高める重要な要素です。

1994 年の第 1 号店、バンヤンツリー・ブーケットの開業以来、グループのリゾート、ホテル、スパは 2,390 を超える各種名誉ある賞を受賞しており、グループとしても、環境保護や CSR 活動への功績を認められ、表彰されています。

現在運営しているホテル、リゾート、スパ、およびゴルフコースに加え、グループは 23 軒のホテル・リゾートが建築中であり、さらに 30 軒が開発中です。

www.banyantree.com www.angsana.com www.cassia.com www.dhawa.com

本件に関するお問い合わせ:

ウェルス・マネジメント株式会社
総務部 TEL 03-6229-2129

バンヤンツリー ホテルズ&リゾート 日本支社
廣谷麻子
PR シニアマネージャー 日本・韓国地区
+81 3 6403 5759
asako.hiroya@banyantree.com